

大分キヤノン株式会社

住所：国東市安岐町下原 710

業種：製造業

従業員数：3,430 人（男性 2,580 人・女性 850 人）

※従業員数は令和 2 年 8 月 1 日時点

女性活躍推進宣言

- ▶ 毎年、男性の育児休業取得者数を 2020 年の 2 倍にします。
- ▶ 2025 年までに女性管理職を 2020 年の 2 倍にします。
- ▶ 2025 年までに女性係長級を 10 名にします。

代表取締役社長

増子 律夫さん



女性活躍を促す実力主義とダイバーシティの風土

全社員にチャンスをもたらす

当社は創立以来、「共生」を理念に掲げ、年齢や性別、学歴、ハンディキャップ等にとらわれることなく、社員一人ひとりが能力を存分に発揮し活躍できる環境づくりに力を入れています。そのため、一般的に「女性活躍」を意識され始める以前からすでに女性社員の活躍は顕著であり、働く環境がダイバーシティそのものでした。

人事制度のベースにあるのは、各自の個性を生かした上で安心安全を守る実力終身雇用です。給与体系は人事評価等の成果によって増額する成果連動型と職務技術職に基づいた役割給付制度を取り入れていることにより、すべての社員にキャリアアップのチャンスをもたらす仕組みになっています。人事評価は年年初に役割シートを作成して、夏に中間面接、年末に 1 年間の成果の振り返りをして翌年の年年初にフィードバック面談と年 4 回の面談を行なっているのが特徴。上司と部下のコミュニケーションの基本であり、確実に評価することと本人の納得度も重要になりますから、時間をかけて丁寧に行っています。また、単に受け身ではなく誰もが自身の考えや能力をアピールする場に活用できるというのもポイントです。

女性に特化した新たな取り組み

女性の活躍が当然の職場ですが、2018 年に改めて女性に特化した取り組みを始めたのは、あらゆる業務において今まで以上に女性の活躍を求めていることと、女性が自分たちの力や特性に気づいて「覚醒」してほしいという考えからです。取り組みの一つが 2 か月に 1 回発行する社内報「わかば」で女性活躍の事例を紹介すること。キャリアモデルになる女性の仕事とプライベートを取り上げることで、ワークライフバランスのイメージをもって活躍できるような「共感」を促しています。女性活躍プロジェクトでは、7 名の女性社員がリーダーとなってチームをつくり、女性の特性や特徴を仕事にどのように活かせるかを切り口に 1 年かけて実証検証しました。テーマは「女性のタイプ別に活躍方法を検討する」「女性ならではの活躍できる業務を検討」など、女性の覚醒を目的とした提案型。社内報でも紹介して活躍の輪を広げました。

実力主義が女性活躍を推進する

社内ホームページにてトップのダイバーシティに関するメッセージを発信していますが、社会構造の中で性別でも年齢でもなく、能力だけを問う仕組みを率先してつくるのが、女性の活躍をさらに推進する近道になると考えています。当社では、生産性向上を目指した CKI（キヤノンナレッジインテンシブ）や適切な労働時間の管理、ビジネススキルの強化、自発型研修、キャリア促進、育成のための試験制度などさまざまな制度やプログラムを活用することで優秀な女性は誰もが上位職につくことが現実となっています。

結婚や出産など女性のライフイベントを想定し、安心してキャリアアップできる制度の充実にも力を入れていますから、今後もあらゆるシーンで能力の高い女性が突出してくれることを期待しています。



全社員が個々の力を存分に発揮できる職場づくりを推進

【取組内容】 ◆女性活躍推進メンバー（リーダー 7 名を中心としたチーム）で活動 ◆女性目線の気づきを生かし、人事異動や復職者への教育カリキュラムを作成し全社展開中 ◆女性のキャリア志向促進のため、社内広報誌で女性管理職の特集ページを連載。女性社員の意識改革を行っています ◆複数人での担当制導入（朝会、昼会等での情報共有）による仕事のシェアで業務の負荷分散を行い、残業削減や休暇取得しやすい環境づくりを行う ◆トップがダイバーシティに関するメッセージを発信しています